

ダムの風だより



“大町ダム管理所”の近況をお知らせする広報誌です！



国土交通省 大町ダム

治水協定を締結
地球温暖化の影響が言われている昨今、河川の氾濫リスクが高まっています。発電ダムや農業用ダムでも洪水を貯め込む治水協定の動きが全国で広まっています。大町ダムでも、利水容量分を事前に放流してダムの貯水位を更に下げて大雨に備える治水協定に参画しています。

平成18年以來、二度目の特別防災操作実施
7月に入ってから長雨で河川水位が徐々に上昇し、7月8日8時30分に犀川の陸郷観測所にて氾濫危険水位に達しました。大町ダムは千曲川河川事務所の要請を受け、ダムからの放流量を通常操作以上に絞り込む、『特別防災操作』を行いました。陸郷観測所に対しては平成18年以來の二度目の対応であり、東京電力の梓三ダムの協力もあり、氾濫被害を防ぐことができました（下図参照）。

流域平均月降水量トップ10

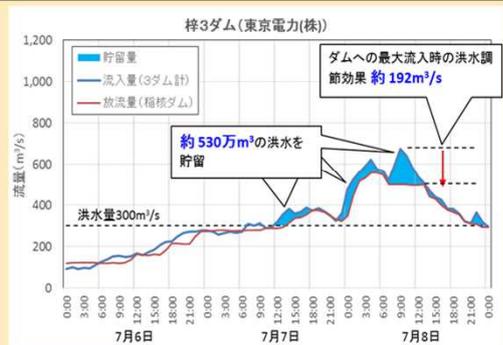
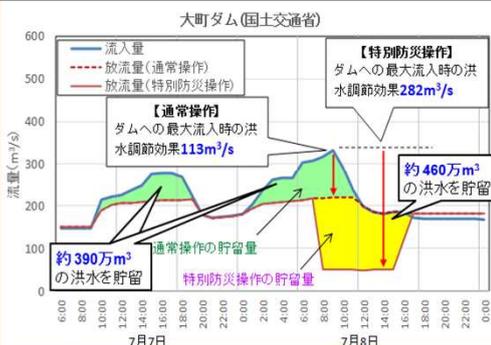
順位	発生年月	降水量 (mm)
1位	R2.7	1010
2位	H7.7	899
3位	H1.9	698
4位	H30.3	678
5位	H18.7	651
6位	H10.8	608
7位	H14.7	601
8位	H21.7	548
9位	H5.7	537
10位	H9.7	523

統計値は昭和61年1月～

7月の降水量は観測史上最大
今年8月に入ってから梅雨明けとなりました。7月の大町ダム上流域の流域平均降水量は、観測史上最大の一千三ミリメートルで7月期平均の二・六倍でした。

令和2年7月豪雨 信濃川水系大町ダム及び梓川3ダムの効果

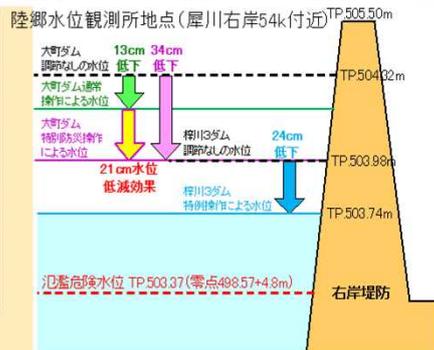
- 信濃川水系犀川の支川高瀬川にある大町ダム（多目的、国交省）及び支川梓川にある3ダム（発電：東京電力）では、7日から8日にかけて、以下①～③のダム操作により、合計約1,380万m³の洪水を貯留して、犀川下流部（安曇野市陸郷地点）の水位を約58cm低減させたと推定。
 - ① 大町ダムの通常操作（7日～8日）により、約390万m³の洪水を貯留
 - ② 犀川下流において、氾濫危険水位を超過し、浸水被害が発生する恐れが生じたため、河川管理者の要請により大町ダムの特別防災操作（8日7時～15時まで）により、大町ダムで約460万m³の洪水を貯留
 - ③ 梓川の稲核ダム等の3ダム（発電：東京電力）では、基準降雨量に達せず、事前放流は実施していないが、河川管理者の要請により特例操作を実施し約530万m³の洪水を貯留



出水状況①（犀川左岸59k付近安曇野市塩川原地先）



出水状況②（陸郷水位観測所）



情報館を再開しました

大町ダムは北アルプスの絶景とエメラルドグリーンの湖水の風景を讚えた景観が美しいところですが、近年、高瀬渓谷めぐりとして旅行会社のツアーコースにも組み入れられており、多くの方々にダム周辺を散策していただいています。大町ダム情報館では、大町ダムの目的や役割、高瀬渓谷に連なる3ダムの関わりを学ぶことができ、毎年6千人の方が訪れています。今年はコロナ禍で情報館を休館していましたが、三密対策を施して再開しました。ぜひ大町ダムにお越し下さい。



・アルコール消毒液の設置



・ボタン等の接触が伴う設備の一時撤去

■ダム内部の見学↓閉鎖空間であるため、引き続き休止
 ■総合学習・団体見学↓再開（ただし、ダム天端での説明のみ）
 ■ダムカード配布↓当面中止

高瀬渓谷3ダム巡り公募中

今年度は10月31日（土）に開催することとなりました。3年ぶりの秋開催となる今回は感染症対策に留意しながらも、皆様に楽しんで頂けるよう、例年とは異なるプランを予定していますので、是非ご応募ください。詳細な情報につきましては、大町ダムHPをご参照願います。

地震時の情報伝達訓練を実施しました

大町ダム管理所では、令和2年9月1日に地震発生時の「情報伝達訓練」を行いました。これは地震発生時、職員が的確に点検を行い、迅速にダムの状況等を各関係機関に伝達するための訓練です。

当日はコロナ感染症対策も踏まえ、2班体制に分かれ地震が発生した際の点検手順や、関係機関やマスコミへの報告内容について確認しました。今後とも、大町ダムは安全な管理に努めて参ります。



・2体制による情報伝達訓練

夏期実習生が大町ダムに来ました

長岡技術科学大学大学院1年の古橋知李君が夏期実習生として大町ダムに5日間滞在しました。ダム内部に浸透してくる漏水量の観測、ダムに異常がないかを見て回る堤体巡視、巡視艇による貯水池法面の確認、機械設備の点検や放流警報設備の更新工事に立ち会う他、水文観測データの収集や整理等の一連業務を体験して頂きました。



・堤体巡視



・ダム湖の湖面巡視

夏期実習生の感想

私が夏期実習に参加して一番驚いたのは、大町ダム管理所で働く職員は全員で10名前後しかいないということでした。それでも高瀬川下流域の安全を守るため、この少人数で日常の維持管理業務から緊急時の防災操作までを行っている職員の方々はかっこよく、非常に印象的でした。

洪水から地域の人々の生命や財産を守り、ふるさとの大切な水資源を活かすことが大町ダムの使命です。ダムに関するご意見やご要望もお待ちしています。

国土交通省 北陸地方整備局 大町ダム管理所

〒398-0001 長野県大町市平字ナロヲ大クボ2112-71
 TEL. 0261-22-4511(代) FAX. 0261-22-4512 <http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>

